

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市北部身体障害者福祉会館及びわーくす高津	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 育桜福祉会 ・代表者名 理事長 星 栄 ・住所 中原区西加瀬10-3	評価者	障害福祉課長 障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課・障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<p>【北身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・手話入門(昼):全7回 22名 ・手話入門(夜):全7回 14名 ・入門点字:全5回 15名 ・拡大写本入門:全6回 15名 ・朗読入門:全5回 22名 ・視覚障害者への理解:全2回 15名 ・読み聞かせ講習会:全1回 18名 ・書道教室 月1回 13名 ・囲碁教室 月2回 8名 〔作業室〕 ・在籍数:生活介護 24名(定員20名) ※平成30年度未現在 【わーくす高津】 ・在籍数:就労継続B 30名(定員30名) ※平成30年度未現在</p>																																																
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館・作業室全体 (円)</th> <th colspan="2">わーくす高津 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>86,131,390</td> <td>収入</td> <td>54,286,081</td> </tr> <tr> <td>委託料他</td> <td>84,405,641</td> <td>就労支援事業</td> <td>4,260,013</td> </tr> <tr> <td>作業収入他</td> <td>690,765</td> <td>自立支援費等</td> <td>49,163,871</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,034,974</td> <td>その他</td> <td>862,197</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>69,979,383</td> <td>支出</td> <td>49,110,900</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>56,655,478</td> <td>人件費</td> <td>37,698,816</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>4,416,142</td> <td>事務費</td> <td>2,234,891</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>7,200,252</td> <td>事業費</td> <td>4,232,159</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,707,511</td> <td>就労支援事業</td> <td>4,260,013</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>16,151,997</td> <td>その他</td> <td>685,021</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>差額</td> <td>5,175,181</td> </tr> </tbody> </table>	身障会館・作業室全体 (円)		わーくす高津 (円)		収入	86,131,390	収入	54,286,081	委託料他	84,405,641	就労支援事業	4,260,013	作業収入他	690,765	自立支援費等	49,163,871	その他	1,034,974	その他	862,197	支出	69,979,383	支出	49,110,900	人件費	56,655,478	人件費	37,698,816	事務費	4,416,142	事務費	2,234,891	事業費	7,200,252	事業費	4,232,159	その他	1,707,511	就労支援事業	4,260,013	差額	16,151,997	その他	685,021			差額	5,175,181
身障会館・作業室全体 (円)		わーくす高津 (円)																																															
収入	86,131,390	収入	54,286,081																																														
委託料他	84,405,641	就労支援事業	4,260,013																																														
作業収入他	690,765	自立支援費等	49,163,871																																														
その他	1,034,974	その他	862,197																																														
支出	69,979,383	支出	49,110,900																																														
人件費	56,655,478	人件費	37,698,816																																														
事務費	4,416,142	事務費	2,234,891																																														
事業費	7,200,252	事業費	4,232,159																																														
その他	1,707,511	就労支援事業	4,260,013																																														
差額	16,151,997	その他	685,021																																														
		差額	5,175,181																																														
サービス向上の取組	<p>・会館では、講習会の周知広報・情報発信のため、町会等の協力をいただきながら、地域に根差した会館として、新聞等の媒体を活用する等、広報に力を入れ、講習会の応募、団体への入会申込等につながる事ができた。また、会館の理解を深めてもらうため、パンフレットを作成し、広報ツールとして活用するなど、サービス向上に取り組んでいる。</p> <p>・わーくすでは、昨年度より全員での全体外出の回数を減らし、小グループでの外出を増やすことで、またプログラムの行程検討に関わる機会も増え、自己選択、自己決定の機会を増やすことができ、よりきめ細やかなニーズに対応ができる外出プログラムとなるなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>																																																

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由) ・会館では、講習会の周知広報・情報発信のため、町会等の協力をいただきながら、地域に根差した会館として、新聞等の媒体を活用する等、広報に力を入れ、講習会の応募、団体への入会申込等につながる事ができた。また、会館の理解を深めてもらうため、パンフレットを作成し、広報ツールとして活用している。 ・作業室では、障害特性や加齢に伴う身体機能に配慮した支援として、昨年度より体を動かす機会の提供として健康プログラムを取り入れ、実施するなど、利用者への支援を適切に行っている。 ・作業室において、自主製品販売を通して地域交流を深めるため、新たな販売場所として、新規で4か所参加をし、利用者の意識向上とともに、売り上げも伸ばすことができた。また、ボランティア募集を利用者と一緒に挨拶等行い、地域とのつながりが深まることで、定期的なボランティア参加を増やすことができた。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
<p>(評価の理由) ・概ね良好な収支状況である。会計処理についても適正に行われている。 ・会計監査人監査を任意で実施し、第三者によるチェック体制が整えられている。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業室において、利用者の在宅生活継続支援のため、作業室が中心となってケース会議を開催し、情報共有やケアの方向性を確認するため、サービス調整を行った。また、福祉用具や住宅改修が必要な方には、関係機関と調整の上、サービスを導入し、通所事業所としての機能だけでなく、利用者の生活全般のサポートを行う等、利用者の支援を適切かつ十分に行っている。 作業室において、創作活動発表の場として、「colorsかわさき展」に出展し、当日は受付サポーターとして参加するなど、作業だけではなく、利用者の個々の能力に応じ、活動の幅を広げるなど、サービス向上に向けて取り組んでいる。 わーくすにおいて、工賃向上のため、新規作業の開拓を行い、また既存作業の工程を見直し、より細分化することで、能力に応じた作業参加に取り組みことができた。また、市主催のおそうじプロジェクトに3名が参加し、清掃技術を身につけることができ、受注の幅を広げることができた。その結果として、作業収入が増加し、平均工賃が初めて1万円を超えるなど、サービスの向上に取り組んでいる。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策について、二次避難所として避難者受け入れのため、連絡訓練に参加し、非常時の動きを確認している。また、防犯については、高津警察署と協力して、不審者対応訓練を行い、安心・安全の取り組みを行っている。 内部研修によって社会福祉従事者として必要なスキルを習得するとともに、積極的に外部研修に参加し、修了後、伝達研修等を行い、職員間で情報共有を図っている。また、自主製品の向上及び販売の効果向上を図るため、「アートグッズ企画と販売の実践講座」に参加し、毎月の施設にて行っている販売会に活かし、開始前にはたくさんの人が並ぶなど、地域の方々に認識され、人気のイベントになるなど、スキルアップ効果が出ている。 安全・安心の取り組みとして、「ヒヤリハット・事故発生対応マニュアル」「危機管理マニュアル」を基に体制整備を行い、改善と意識向上のため、毎日の職員会議時に報告し、全職員に認識を共有した結果、全体で年間4件と、事故発生防止に寄与している。また、非常災害対策として、毎月、防災訓練を行う等、安全・安心の取り組みができています。 コンプライアンスについて、個人情報保護を含めた各種諸規定を整備し、行動規範徹底のため、法人及び事業所にて研修を行っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃作業を作業終了後に利用者全員で毎日行い、その中で、就労に向けた訓練として、職員が見守りの中、清掃を毎日実施している。 施設管理について、概ね適正に管理運営を行っている。 					

4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> 会館・作業室では、近隣の中学校から依頼を受け、授業の一環として「職場体験」として、利用者といふことができ、障害者福祉の理解として、地域福祉に貢献していることは評価できる。 わーくすにおいて、工賃向上のため、新規作業の開拓を行い、また既存作業の工程を見直し、より細分化することで、能力に応じた作業参加に取り組みことができた。また、市主催のおそうじプロジェクトに3名が参加し、清掃技術を身につけることができ、受注の幅を広げることができた。その結果として、作業収入が増加し、平均工賃が初めて1万円を超えるなど、サービスの向上に取り組んでいる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> 来年度以降も引き続き、各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。
--